



第3章 計画の基本理念と基本方針

第3章 計画の基本理念と基本方針

1. 基本理念

子どもの健やかな成長を見守る 絆で結ばれた地域の実現

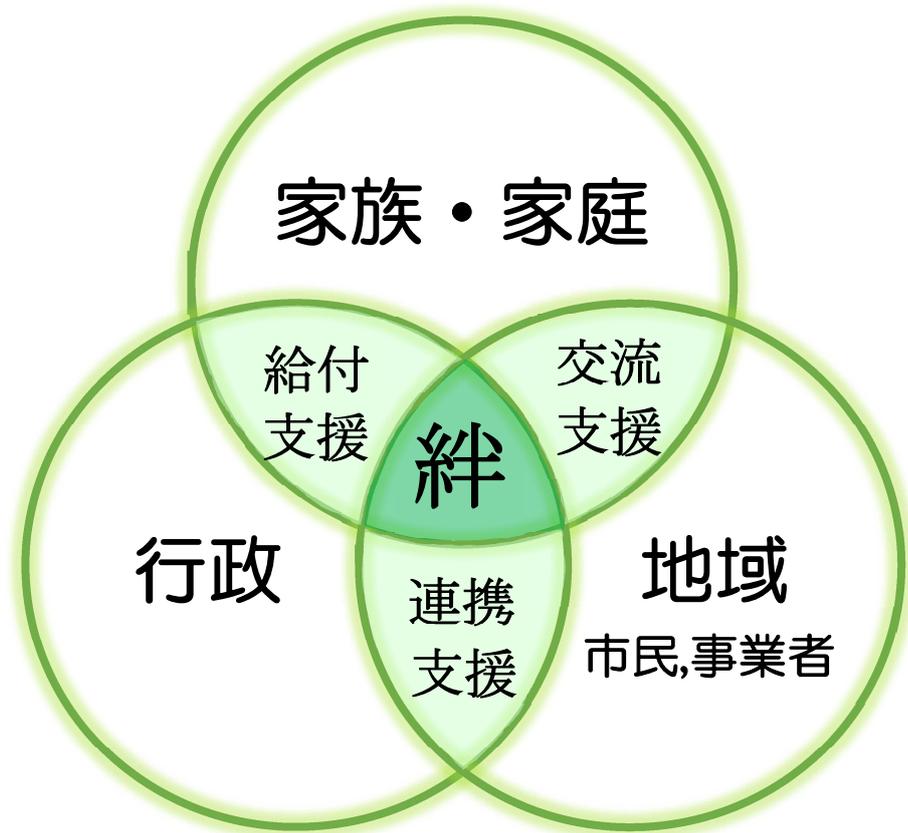
子どもの健やかな育ちと家庭における子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せに繋がるものであり、日々成長する子どもの支援とともに親の支援も大切です。

また、人が家庭を、家庭が地域を、地域がまちをつくるものであり、家庭における子育てを地域全体で支援することによって縁が結ばれ、「地域（まち）」は成長します。

しかし、平成25年度末に実施した子育て世帯を対象としたアンケート調査によりますと、約35%の世帯では近隣に頼れる祖父母等の親族がいないと答えています。また、子育ての相談先として「近所の人」と回答したのは約15%に留まるなど、家庭の孤立化と地縁の希薄化の進行が明らかになっています。子育てを取り巻く環境の変化により、家庭に引きこもる“密室育児”は増えており、子育て家庭の孤立感や子育てに対する負担感の軽減が図られず、児童虐待に繋がるケースも見受けられます。

こうした状況を改善するためには、地域のすべての人が「子育て・子育ち」そして「親育ち」を支え合い、見守っていく必要があると考えます。そして、「子育て・子育ち」そして「親育ち」を介して「家族の絆」、「地域の絆」を強化、再構築し、その結果として「地域（まち）育ち」に繋げていくことが重要です。

子どもが心豊かで健やかに育つためには、子育ての主体となる「家族・家庭」、「地域」、「行政」の三者が、各々の役割を果たすとともに、相互に連携・交流・協力することが重要です。そこから生まれるのが「絆」であり、それにより個々の関係がより強化され、「家族の絆」、「地域の絆」の強化、再構築に繋がります。



「絆」で強く結ばれた安心できる地域において、子どもが健やかに成長していく。

そのような子育て環境が実現できるよう、平成17年度から実施してきた「ひたちなか市次世代育成支援対策行動計画」の基本理念を引き継ぎ、子ども・子育て支援事業計画を策定しました。

2. 基本視点並びに基本方針

基本理念を実現するため、次の基本視点により、3項目の基本方針を定め施策に取り組みます。

基本視点

「家族の絆」、「地域の絆」の強化、再構築による子育て支援

基本方針

●基本方針1 子育て支援

全ての子どもたち一人ひとりが人と人との関わりを通して豊かな人間性を育み、自立した次代の親・地域の担い手になることを支援します。

●基本方針2 親育ち支援

子は親を見て育つものであり、だからこそ親は自分を律し、成長する必要があります。と同時に、子が本来持っている育つ力に親が気づき、それを引き出し、活かしてあげることができるよう親育ちを支援します。

●基本方針3 子育て支援による地域（まち）育ち支援

地域における「子育て・子育ち」を介して「家族の絆」、「地域の絆」を強化、再構築し、その結果として「地域（まち）育ち」を支援します。

3. 施策の体系

